令和８年度第１回芦屋町地方創生推進委員会議事録

会議名称	令和８年度第１回芦屋町地方創生推進委員会					
日時	令和８年９月 11 日（金）　午後７時 00 分～午後８時 10 分					
会場	芦屋町役場　３階　３１会議室					
議題	１　町長あいさつ ２　委嘱状の交付 ３　委員の紹介及び会長・副会長の選出 ４　諮問 ５　議　事 （１）令和７年度における第３期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価(案)について （２）その他					
委員の出欠	会長	内田　晃	出		松本　健吾	出
	副会長	山村　朋代	出		中西　隆雄	出
		鄭　俊如	出		田中　耕造	出
		内海　猛年	出		小原　隆寛	出
		中西　智昭	出		西村　由美子	出
		後藤　了輔	出		渡部　千津	出
合意決定事項	・令和７年度における第３期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（案）について、承認される。					

１　町長あいさつ

本委員会は、芦屋町の地方創生の取組を検証し、今後の方向性をともに考える大変重要な場である。委員の皆様にはそれぞれの専門的な知見や日頃のご経験を踏まえ、率直かつ建設的なご意見をお寄せいただきたい。町としても、いただいたご意見を真摯に受け止め、施策の改善につなげる。そして、より多くの方々に「この町で暮らしたい、住み続けたい」と思っていただけるような町づくりを進めていく。

２　委嘱状の交付

委員を代表し、町長から内田委員に委嘱状の交付。

３　委員の紹介及び会長・副会長の選出

事務局からの委員紹介後、委員の互選により、会長に内田委員、副会長に山村委員が選出された。

４　諮問

町長から内田会長へ、諮問書が交付された。

（会長あいさつ）

今年度は、第３期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略における令和７年度の評価について、検証を行う。忌憚のないご意見を賜りますよう、お願いしたい。

５　議事

（１）令和７年度における第３期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（案）について

（事務局）

〇資料１を用いて、公表シートの見直し及び評価方法の明確化について説明した。

〇資料２及び資料３を用いて、令和７年度の評価（案）を説明した。

-質疑応答-

（委員）

単年度の評価として「数値目標を達成したからよし」で終わるのではなく、それが将来的に繋がる要素なのかどうか、という視点が重要である。現在の公表用シートでは、どのように総合的な評価を出しているのかわかりにくい。

（事務局）

資料１のとおり、前年度に定めた行動目標及び単年度の数値目標を基に、総合的に取組を評価している。そのため、単純に単年度の数値目標に達したから評価が高

くなるものではなく、目標を達成するために「どのように行動したか」を重視している。また、次年度に向けた課題も整理して、今後につながる形としている。

今回評価シートを見直したが、前年度に定めた行動予定や行動評価、数値評価を記載していないため、わかりにくくなってしまっている。その点については次年度に見直しを行う。

（委員）

資料３のＰ４「観光入込客数」について、令和７年度実績は数値目標を大きく超えているが、評価としてはＳではなくＡになるのか。

（事務局）

数値目標に対する評価はＳであるが、行動目標に対する評価については、前年度に定めた目標に対して、「予定どおり実施できた」という実績のため、評価はＡである。そのため、行動評価Ａ、数値評価Ｓで総合評価はＡとなる。

（委員）

次年度に向けて、行動評価と数値評価についても評価シートに記載することを検討してほしい。

（委員）

資料３のＰ２「観光スポット紹介動画投稿件数」について、特定の職員に職務が固定されている状況は、組織として改善する方がいいのではないか。

（事務局）

この件については、実績の調査を行った時点で、業務を属人化することがないよう、事務局から担当課に話をしている。今回、委員会からも意見があったことを改めて担当課に伝える。

（委員）

資料３のＰ12「認定農業者」について、令和７年度は２名増加したということだが、本人が自主的に申請したのか、それとも行政からの働きかけによるものなのか。

（事務局）

行政から認定農業者制度の周知は行っているが、申請は自主的に行われているものである。

（委員）

認定農業者になるための条件は全国統一だと思うが、その基準となる数値などは町で独自に緩和できる部分があるのではないかと思う。町として認定農業者数を増やすことを検討しているのであれば、そのあたりについても検討してほしい。

（事務局）

担当課に伝える。

（委員）

「年度実績 15 人」となっているが、これはその年度に新しく認定された実績が 15 人（プラス 15 人）という意味ではなく、現在トータルで 15 人ということか。

そうだとしたら表右側の「年度実績」という表記がわかりにくいので、「年度末実績」とするほうがいいのではないか。また、年度別の増減をわかるようにするなど、表も工夫してほしい。

（事務局）

お見込みのとおり、現在のトータルで15人である。

評価シートについてはより分かりやすくなるよう、次年度に見直しを行う。

（委員）

資料３のＰ８に芦屋港レジャー港化の内容があるが、当初の予定よりも開業が遅れている状況である。今回の令和７年度評価は、計画策定時の目標に基づく評価なのか、それとも開業が遅れている状況を踏まえた評価なのか。

（事務局）

ＫＰＩは当初目標のとおりとしているが、行動評価の部分では、前年度に定めた目標に対する達成状況により評価をしている。そのため、開業が遅れている現状に即した評価をしているものと考えている。

（委員）

資料３のP33「電子図書館のログイン利用率」について、基準値や年度実績の算出方法を教えてほしい。

（事務局）

担当課に確認したうえで、改めて委員の皆さんにお伝えする。

（委員）

併せて、学校のタブレットから電子図書館を利用した場合も電子図書館のログイン利用率に影響が出るのか、改めて確認してほしい。

（事務局）

併せて、担当課に確認する。

（委員）

計画期間中に目標値を達成した場合など、ＫＰＩの見直しを行うことは考えているか。

（事務局）

考えていない。

-質疑応答終了

（会長）

それでは、次年度に評価シートの見直しを行うこととしたうえで、令和７年度の評価（案）については、本会議の資料のとおり委員会として承認してよいか。

異議なし

（事務局）
承認いただけたので、中間答申（案）を配布し、説明してよろしいか。
（会長）
許可する。
（事務局）
中間答申（案）を配布し、事務局から説明。

（会長）
この中間答申（案）に資料２及び資料３を添付し、令和７年度の評価について芦屋町長に中間答申することで、異議はないか。

異議なし

（２）その他

①委員より

意見なし

②事務連絡

（事務局）
議事録及び委員報酬・費用弁償の支払い、次回の会議日程について、事務局より説明し、閉会した。